

岩国住民と連帯して、岩国基地撤去のために闘おう！
九州や琉球弧への自衛隊配備と軍事演習を止めよう！
アジアと連帯して、岸田政権の戦争策動に立ち向かおう！

2023岩国行動へ！



日時：2023年11月18日（土）～11月19日（日）
資料代：1日/通しともに1000円（労働者反戦交流集会は別途資料代）

-
- 18日 15時～ 岩国・労働者反戦交流集会(岩国市福社会館小ホール)
17時30分～ 全国反基地交流会(岩国市福社会館小ホール)
- 19日 8時～ 基地フィールドワーク(要・事前申し込み)
9時30分～ 岩国国際連帯集会(岩国市福社会館小ホール)
12時30分～ 岩国市庁舎前広場 集合
屋外集会&岩国基地正門へデモ

主催：アジア共同行動(AWC)日本連絡会議
岩国・労働者反戦交流集会実行委員会

アジア民衆と連帯し、全国からの結集で2023 岩国行動を成功させよう！

●米空母艦載機移転で海兵隊と海軍の基地となった岩国米軍基地は、現在、米4軍が常時共同使用する基地として強化されています。岩国基地所属の空母艦載機は、毎年、朝鮮民主主義人民共和国や中国に対する軍事演習に参加しています。2月には海自と米海軍が、広島湾で「台湾有事」を想定した初の共同訓練を行いました。岩国が全国への運用拠点となっているオスプレイの飛行高度が60mに引き下げられ、岩国から日本全国に超低空飛行が行われています。岩国基地を拠点の一つとして今年7月2日から実施された米軍の大演習「ノーザンエッジ」は、「インド太平洋地域での危機に対応する演習」、つまり対中国の戦争演習であり、軍の種類を超えた合同部隊の統合運用体制を作る実戦的な実働演習です。全国から航空自衛隊も参加し、米軍機が日本全国を機動展開したこの訓練をめぐって、米軍司令官は岩国基地を絶賛しており、日米の対中国包囲網づくりにおける岩国基地の重要性がますます鮮明になっています。

●日米共同訓練「ノーザンエッジ」では、三沢基地からF16（12機）、嘉手納基地からF15E（12機）が岩国に送られ、数週間にわたって岩国基地の海兵隊のF35BやFA18ホーネット戦闘攻撃機とともに訓練を行いました。米軍はこれを「必要かつやるべき訓練のための一時展開」としていますが、それは必要な時にはいつでも岩国基地を使用するという恒常的な使用を意味しています。「基地との共存」を掲げる福田市政でさえ、外来機の恒常的飛来は岩国基地の新しい負担と言わざるを得ないものです。岩国基地の機能が大きく強化され変容していると岩国市民は指摘しています。



●このような中で、岩国市民は、一年を通し、お盆期間さえ止むことのない戦闘機騒音に苦しめられています。昨年からの第2次岩国爆音訴訟が、早朝夜間飛行差し止めを目標に闘われています。また昨年末には岩国米兵による自動車盗難と交通事故が起こり、年初から米軍犯罪を日本国内法で裁くことを求める署名が継続的に取り組まれています。全国からの支援とともに、2月には岩国市内で「米軍犯罪に泣き寝入りしないぞ!」と抗議デモが行われるなど世論が大きくなり、米兵の在宅起訴につながりましたが、米軍は不逮捕特権を行使し、軽微な判決となりました。不平等な日米地位協定に対して現在も被害者を先頭に闘いが続いています。注目し、連帯していこう！

●バイデン米大統領は、5月に行われたG7広島サミットで岩国基地に専用機で降り立ち広島に向かい、原爆投下への謝罪も反省も示さず核のボタンを持ったまま平和公園に入りました。被爆地を利用し開催したG7広島サミットではG7首脳が自らの核の抑止力を強調する「広島ビジョン」を発表して被爆者をはじめとする広島市民や全国・世界の市民の怒りを買いました。嘉手納から岩国に飛来しているF15Eは核攻撃の任務に就く爆撃機で危険性が高いと岩国市民は指摘しています。広島で原爆に遭って、さらに直後の8.14岩国大空襲で米軍被害を受けた人も多かったという岩国を絶対に核攻撃の拠点にしてはなりません。米軍基地を岩国から追い出すために闘おう！

●ここ数年にわたって、鹿児島県奄美から宮古島、石垣島に自衛隊ミサイル部隊の配備が強行され、さらに台湾に最も近い与那国島にもミサイル部隊を配備しようとしています。現地からは身を挺した抵抗とともに「琉球弧を再び戦場にするな」「琉球弧からアジアを攻撃させてはならない」との声が強くなっていきます。岩国基地強化と連動する佐世保基地の活性化、そして九州から琉球弧へとつらなる自衛隊攻撃部隊の配備と連動して、築城航空自衛隊基地の拡張強化や、大分敷戸へのミサイル弾薬庫新設、佐賀への自衛隊オスプレイ配備などが浮上しています。これらの闘いが連帯によって一つにつながっていくように全力を尽くそう！

●2023 岩国行動は、アジアからの参加者を迎え、岩国基地の撤去を願う全国の参加者とともに開催します。今年8月の日米韓首脳会談では、日米韓の恒常的な軍事協力体制の拡大が打ち出され、東アジアの軍事緊張が一層高まっています。岸田政権は、安保三文書による先制攻撃能力の保有、軍事費の倍増と増税に加えて、原発依存社会への暴走、そして武器輸出まで画策しています。朝鮮戦争停戦70年に平和協定への転換を求める朝鮮半島の民衆、台湾有事の扇動に対して「日米は台・中両岸問題に介入するな」と訴える台湾の民衆をはじめ、アジア民衆と連帯して、岸田政権と対決しよう！ 国際連帯の旗を高く掲げ、戦争体制に向けた労働組合弾圧、民衆運動への監視と弾圧、戦争を正当化する差別と排外主義を許さず、差別される人々とともに2023 岩国行動を闘おう！

連絡先メールアドレス：awcjapan21@yahoo.co.jp